

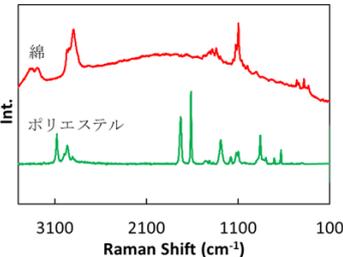
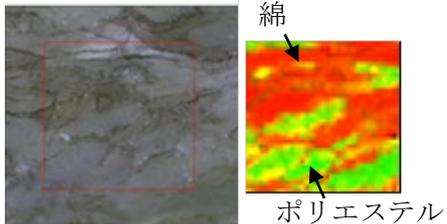


薬品を使用しない繊維組成の定性定量方法
ラマン分光法による繊維混用率測定技術

技術分野分類 5304：分析化学

技術キーワード 機器分析

産業分類 11：繊維工業

内 容	概要	衣料品などでは、家庭用品品質表示法の繊維製品品質表示規程で繊維組成を表示する必要がある。組成を調べる混用率試験には一般的に、酸やアルカリ、有機溶剤が用いられます。本技術は、ラマン分光法を用いることにより、薬品を使用せず繊維製品の組成を明らかにすることが出来る。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	従来法による繊維鑑別及び混用率試験は、薬品を用いる溶解法が主に行われている。酸、アルカリ、有機溶剤を使用して繊維を1種類ずつ溶解するため、多くの時間を要することや作業に伴うリスクが高い。本技術は、1 μ mの空間分解能を持ち、繊維の定性分析を行うことができるレーザーラマン分光法を用いることにより、薬品を使用せず、短時間で測定可能である。
	本技術の 有用性	繊維製品等の定性定量を行うことが出来る。
関連情報 (図・表・写真等)	  <p>綿とポリエステルのラマンスペクトル 観察像(左)とマッピング結果(右)</p>	
適用可能製品	インテリア、アパレル、産業資材用途等の繊維製品	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	小林 孝行 あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター 製品開発室 主任研究員
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター 企画連携(総合技術支援・人材育成)担当 0533-59-7146 / 0533-59-7176 mikawa@aichi-inst.jp

■知的財産 なし

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2025年 10月 8日